

## 導入の背景

協会発足時、縦割り方式の事務を行ってきたが、職員間のスキルのばらつきによる士気の低下やベテラン職員が異動・退職するたびに残った職員に負荷がかかり残業が恒常化するなど、業務課題が顕在化してきたため、業務のやり方をより一段進化させるための方策の一つとして導入したのが山崩し方式です。

## 山崩し方式とは

日々の業務処理量の多寡に応じ柔軟なチーム編成の組み合わせによる事務処理方式 【縦割り方式 → 山崩し方式】

## 目的

### 1. 多能化

- ・ 職員一人ひとりが担当できる業務を増やし、スキルも向上させる。

### 2. 生産性向上

- ・ ①同じ業務量に対して処理時間を少なくする、②同じ時間で処理できる業務量を多くする、③スキルを高める のいずれか、または全てを向上させる  
→ 業務プロセスの標準化・効率化・簡素化を徹底することにより、業務の生産性を向上させる

## 目指す姿

### 1. 加入者への貢献

- ・ 基盤的保険者機能を強化し、一層正確・迅速な給付業務の実現を図る。
- ・ 将来的にはより多くの職員を戦略的保険者機能の強化へ振り向ける。

### 2. 職員の働きやすさ向上

- ・ 残業が減る、有給休暇が取りやすくなるなど、ワークライフバランスの向上につながる。
- ・ 個人ではなく組織で仕事をする風土が醸成され、業務の標準化のみならず、コミュニケーションも活発化し風通しが良くなる。
- ・ 一人ひとりの成長も可視化される。

## 成果（一例）

昨年来、新型コロナウイルス感染症の影響により、出勤職員縮減や、傷病手当金支給申請書の大幅な増加など、通常業務体制では対応困難な時期があったが、業務の優先順位をつけ、柔軟にチーム編成の組み合わせを変更することにより、加入者への影響を最小限にとどめることができた。